

放射能汚染以後の、食の安全って？

愛知に広がった汚染食品の実態は・・・

日本はこれまで、添加物や農薬の使用にも厳しい基準を設けるなど、こどもたちの健やかな成長のために努めてきました。

放射能汚染の影響は、まだまだ説明されていない部分が多々あり、より慎重な対応が望まれています。

汚染された食品って
愛知でもこんなに
流通してるの？
とてもショック・・・。

チェルノブイリの汚染を思うと
こんな汚染食品なんか
こどもたちに食べさせられない。
なんとかしなくっちゃ！

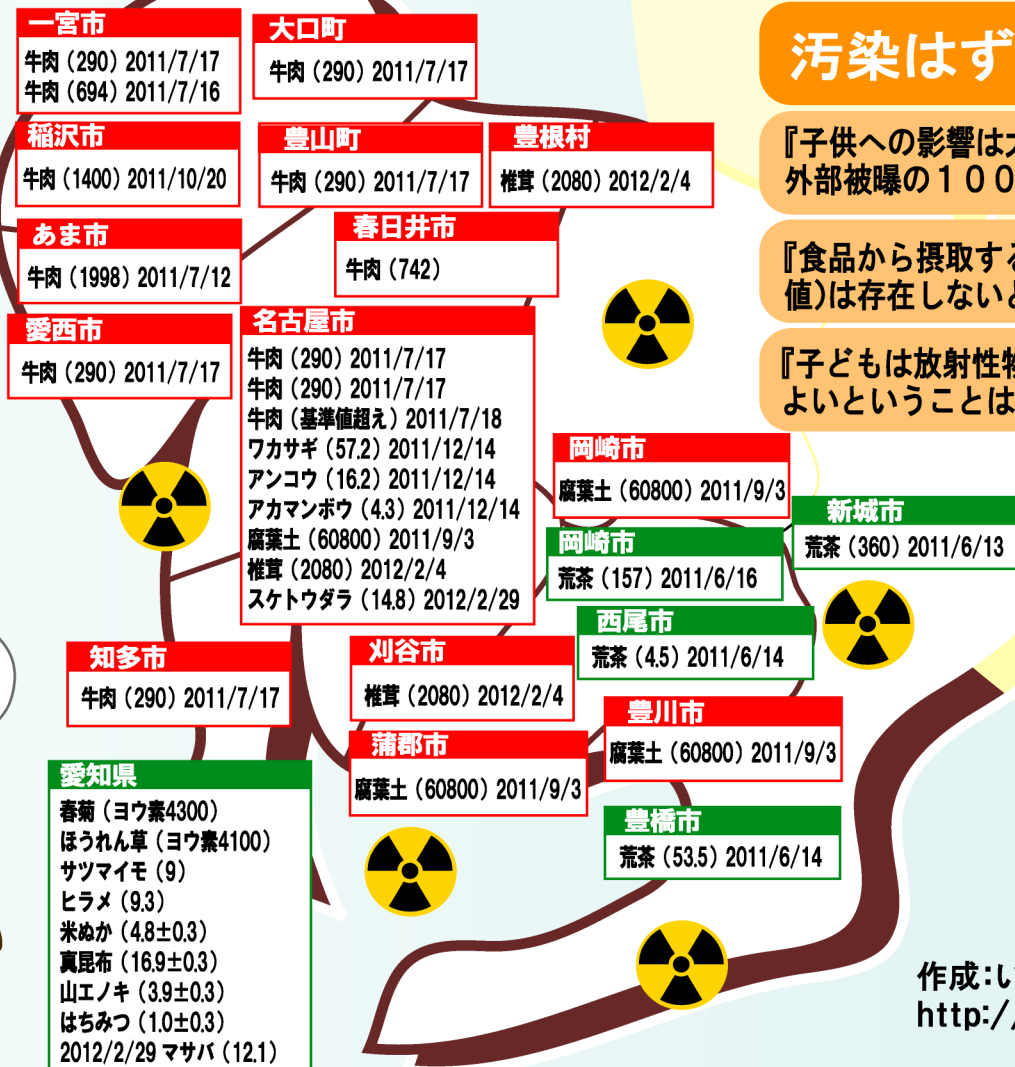
新基準……
前よりはす"つとマシだけど"
毎日食べる食品が
100ベクレルなんて
こまっちゃう・・・。

愛知県汚染食品流通マップ

2012年3月1日バージョン

セシウム134と137の合計値 [単位:ベクレル/kg]

※ このマップの測定値は自治体及び報道等の情報をもとに作成されています。



汚染はずっと続きます。

『子供への影響は大人に比べて3倍から5倍。内部被曝は外部被曝の1000倍影響します』(ペトカウ理論より)

『食品から摂取する放射性物質の安全と言える量(しきい値)は存在しないとも言われています』

『子どもは放射性物質に汚染された食品を摂らない方がよいということは、放射線防護の基本であり常識です』

厚生労働省発表の新基準(抜粋)

2012年4月施行予定

食品群	新基準
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用	10

作成:いのちと未来を守るネットワークあいち
<http://kodomonomirai.jp/aichi/>